

住み慣れた地域で、安心して
在宅医療を受けることができるよう行政支援
大野市地域医療推進支援事業



福井県大野市

水と緑が豊富な福井県大野市



福井市中心部より東へ30km

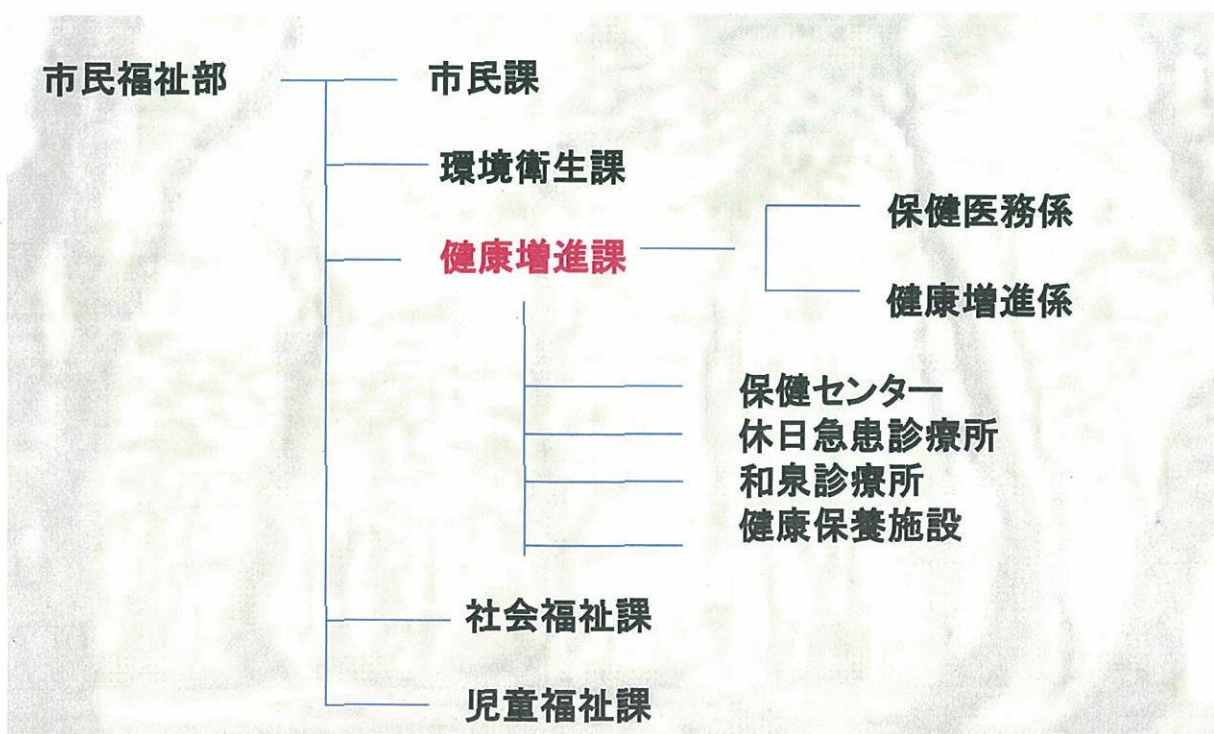
緑豊かな自然環境
水と食に恵まれたまち
地下水が豊富(「御清水」は
名水百選)

歴史、文化、伝統が息づく
雪国特有の粘り強さ、厚い
人情の市民

人口は3万8千人弱 高齢化が顕著

人口	37,594人 (22.4.1現在)
男	17,894人
女	19,700人
老年人口	10,889人 28.96%
死亡率	12.8 (H21年)
出生率	6.2 (H21年)

担当は市民福祉部に所属



本市の医療・介護資源 H22.6現在

医療等施設	施設数	病床数	医療従事者数
病院	4	212	医師31
一般診療所	22	133	歯科医師16
歯科診療所	12		薬剤師30
訪問看護ST	4		保健師16
			助産師1
			看護師80
			准看護師161
			栄養士7

市内介護保険事業所 H23. 5現在

施設種類	施設数
指定居宅介護支援事業所	10
指定居宅サービス事業所	37
地域密着型サービス事業所	7
介護保険施設	5
介護保険以外の老人福祉施設	2

在宅医療連携拠点事業は3本柱

1) 職種連携の課題に対する解決策の抽出

- ①地域医療協議会の開催 年2回
- ②「地域医療コーディネーター」の雇用
(4月に雇用済み)
- ③地域医療研修会の開催 年2回
- ④地域医療推進連絡会の開催 年4回
(第1回は6月23日開催済み)

2) 在宅医療従事者の負担軽減の支援

- 医療機関や訪問看護事業所等の実態把握
28施設訪問済み(事業説明、在宅診療状況把握)
- 在宅医療従事者の負担軽減の体制を検討
(推進連絡会や協議会)
- 急変時や終日対応困難な診療所の検討
チーム医療の提供体制
副主治医制・専門医の協力体制

3) 効率的な医療提供のための多職種連携①

- **地域医療コーディネーターによる連携構築**
 - ・地域包括支援センターに対しての医療的な助言
 - ・訪問による支援
 - ・地域ケア会議に出席
 - ・居宅介護支援事業所との連携による医療系サービス導入の情報提供

3) 効率的な医療提供のための多職種連携②

- **連携のためのツール検討、体制整備**
 - 在宅療養に多職種で関わる際の記録様式
 - ケアの質を確保するためのチェックシート等
 - 各機関と連絡体制整備
- **在宅医療従事者対象の在宅医療連携の研修会（7/13夜、250名規模、市医師会共催）**
- **かかりつけ医の普及啓発（6/14現在、12会場、市民242人）**

医療・介護の連携上の課題

- 在宅介護機関への積極的な連携、支援に**医療機関側からの関わりが少ない**
- 在宅療養者の急変時の受診や訪問診療を円滑にするための**連携体制のあり方が不透明**である
- 医療受診を**中断しているケース**を介護機関側が早期に把握し、医療機関へつなげる対応が積極的にできていない

地域医療支援事業

◆ 住み慣れた地域で安心して在宅医療を受けるために

施策名	施策の目標	事業内容
(1) 在宅主治医、副主治医、専門医の紹介 (2) 相談窓口の対応 (3) 地域医療推進連絡会の開催 (4) 地域医療研修等の開催	在宅への切れ目のない医療の提供 地域医療に対する意識の共有	(1) 退院前・後ケースカンファレンス(かかりつけ医を持たないケース) (2) 患者情報を在宅医療支援医に提供 (3) 地域医療推進連絡会 4回/年 (4) 地域医療研修会 2回/年

◆スケジュール

月日	事業名	内容
4月～	医療相談窓口開設・各医療機関等訪問・地域医療推進連絡会準備	関係機関に事業説明・広報活動
6月23日	第1回地域医療推進連絡会	趣旨説明・意見交換・計画
7月13日	第1回地域医療従事者研修会	在宅医療についての共通認識を図る。
8月25日	第2回地域医療推進連絡会	ケース検討を随時実施
10月	第2回地域医療研修会	県内実践者の活動報告
11月24日	第3回地域医療推進連絡会	ケース検討を随時実施
2月23日	第4回地域医療推進連絡会	ケース検討・事業評価

ご静聴有難うございました

